

令和7年度学校経営計画

学校名 東広島市立東西条小学校

校長名 下田 健一郎

I 学校の状況

学級数	22	児童・生徒数	520	教職員数	44
メールアドレス	higashisaijo-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/higashisaijyo_sho/index.html				

II 教育目標

<p>「夢と志」をもち グローバル社会を挑戦し続ける児童の育成 ～ 学ぶ 鍛える 仲良く育つ ～</p>
--

III 経営理念 (ミッション・ビジョン)

<p>ミッション 【CAN DO (感動) ～ You CAN DO IT! We CAN DO IT! ～】 自らが学習に向かい(挑戦し)、感動を味わい(感動し)、自分への自信を高める(自信を高める)</p> <p>ビジョン 「えがお いっぱい」の学校 ～ 「学びがい」「やりがい」「応援しがい」のある学校～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標をもって根気強く学び続ける力をもった子どもを育む学校になる(学びがい) ・子どもに寄り添い、自覚と誇りをもって挑戦・協働する教職員集団の学校になる(やりがい) ・保護者や地域と目指す子ども像を共有し、共に歩もうとする学校になる(応援しがい)

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
【校訓】 確かな学力(知) 豊かな心(徳) 学ぶ 鍛える 仲良く育つ	主体的に学び続ける児童の育成	基礎学力の向上	学習規律の徹底とともに、自らが課題を設定して主体的に学習を進めていくことができる学習スタイルを創造する。	・各教科の単元テストの到達率80%以上の児童の割合【80%以上】
		主体的・対話的で深い学びのある授業の創造	児童自らが課題をもち、他者と対話し、協働するよさを感じながら、主体的に学び続けることができる活動や授業を創造する。	・自らが課題をもち、主体的に学習を進めていくことができると肯定的に回答した児童の割合【80%以上】
	保護者・地域と連携し、豊かな心をもつ児童の育成	あいさつの向上	気持ちのよい挨拶についての具体的な姿を示し、それを保護者・地域と共有して取組を進める。	・挨拶に対する児童と保護者・地域の肯定的評価の割合【それぞれ90%・80%以上】
		読書活動の充実	学校司書と連携し、図書館の効果的な活用と読書紹介文コンクールの取組を通して、読書活動の充実を図る。	・読書をすることが自分にとってよいことだと感じる児童の割合【80%以上】
	自分の健康について考え実践する児童の育成	体を動かすこと(運動)を好む児童の育成	体育科の授業を充実させるとともに、いろいろな遊びを紹介したり場を提供したりして、体を動かすこと(運動)の楽しさを味わわせる。	・体を動かすこと(運動)を好む児童の割合【85%以上】
		健康的な生活習慣の向上	メディアとの適切な付き合い方を、根拠をもとに指導するとともに、自己の生活を振り返る機会をつくる。	・自分の生活習慣を振り返り、自ら健康管理をしようとする児童の割合【80%以上】
信頼される学校(信)	家庭・地域とともに歩む学校	保護者・地域との目指す子ども像の共有	学校が目指す子ども像を明確に示すとともに、学校やコミュニティ・スクールとしての取組を保護者や地域に積極的に発信する。	・学校の方針を肯定的に捉え評価している保護者や地域の方の割合【90%以上】
		ふるさとを愛する心の醸成	カリキュラム・マネジメントを推進し、ふるさとを愛する心を育む学習の充実を図る。	・自分の地域(ふるさと)が「好き」「自慢」と思う児童の割合【90%以上】
		働き方改革の推進	業務改善を推進し、子どもと向き合う時間を確保する。	・働き方に関する教職員の満足度【80%以上】

V 学校評価

1 学校評価システムの組織

- ・自己評価（学校による評価） → 外部評価（学校運営協議会）

2 自己評価及び学校関係者評価の実施計画

- ・自己評価（年2回）、学校運営協議会（年3回）
- ・学校だより・ホームページで公表，学校運営協議会による推進計画等の評価・改善